

岐阜県立岐阜北高等学校

校 長 鈴 木 健

学校住所 岐阜市則武清水1841-11

電話 058-231-6628

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会 議 名 岐阜北高等学校学校運営協議会 (第1回)
- 2 開 催 日 時 令和3年6月7日(月)
- 3 開 催 場 所 書面開催
- 4 参 加 者

会 長	小 林 月 子	岐阜大学名誉教授
副 会 長	西 川 光 美	PTA会長
委 員	安 藤 和 子	H29年度PTA副会長
	黒 宮 崇 宏	岐阜青年会議所副理事長
	澤 井 隆 彰	人材育成コンサルタント
	鈴 木 雅 雄	弁護士
	高 橋 進	則武自治会連合会顧問
	古 田 菜 穂 子	同窓会(北斗会顧問)
学 校 側	鈴 木 健	校長
	新 沢 幸 美	事務部長
	土 田 修 三	教頭
	浦 野 善 裕	教頭
	笠 井 寛	教務主任
	坪 内 有 美 子	進路指導部長
	若 狭 幹 大	生徒指導部長
	山 田 雄 太	特別活動部長
	高 橋 淳	保健厚生部長
	日 比 野 彰 朗	カリキュラムデザイン部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和3年度学校運営経営および方針について

意見1 : 「未来志向で、荒野をひらく探究人」としての「持続可能な社会の発展に貢献出来る」人材育成は、これからの時代、本当に必要なことであると感じており、それが北高スピリットとして受け継がれていくなれば、素晴らしい。

意見2 : タブレット等のICT機器の利用について、意義のある効果的な運用がなされるための工夫が必要である。タブレットの授業への活かし方の共有や、他校の好事例の共有など、モデルケースを提示するような工夫があるとよい。

⇒ 他校の実践例も含め、随時、情報の提供を心掛けている。また、職員研修会も実施し、ICTの効果的な活用を模索している。

意見3 : 繊細な生徒たちに、どのように指導・フォローしているのか。

⇒ 教育相談の人員増加や、生徒との面談を年間で複数回実施し、担任による教育相談でのフォローにより対応している。特に3年生は共通テスト後も面談を続け、きめ細やかな支援を心掛けている。

意見4 : 単位制を導入して3年目とのことだが、生徒にどのような影響が出ているのか、導入前と比較して検証しているのであれば示してほしい。

⇒ データが十分ではないが、外部模試の結果をみると、少人数授業を実施している英語・数学で上位層の増加がみれる。一方で下位層については微減程度で、今後検討が必要である。

意見5 : 学校の方針は、生徒とともに創り上げることに他ならないと考える。まずは学校の教員側に、その想いと実行する志があるかが重要である。

(2) 岐阜北高等学校スクール・ポリシーについて

意見1 : 期待される岐阜北高生として、受験に直接関係ないとしても、これからの社会で求められているSDGSなどへの理解を深め、社会に貢献する探究活動の取組も大切になってくる。

意見2 : 社会人基礎力に照らし合わせる形で3つの『ひらく』方向性を明確にしている点分かりやすい。その内の『自分を啓く』について、自己の哲学を築くためには、自己分析の機会が必要と考える。この自分の軸を考える機会がないことによって、なんとなく高い偏差値の大学を目指すだけで、何を学びたいかなどがわからないまま受験に挑む高校生が多いように思う。生徒の自己分析の機会を設けてほしい。

意見3 : 生徒が失敗を当たり前と思えるほどの沢山の挑戦ができるような機会や仕組みを準備してほしい。

意見4 : スクール・ポリシーの概念が抽象的すぎて理解しづらい。具体化する際、北高活性化プロジェクトチームの結成とチームによる検討で、どのように克服するか、また、克服可能なか今後の推移を見て、修正しながら、いいものにしてほしい。

⇒ プロジェクトチームや生徒会活動、その他の学校内外の活動への参加を本校は奨励している。それらの活動が、いわゆる受験に特化した勉強のみではなく、大学受験を自分の長いキャリアの中でどのように位置づけるか、自分は何に興味があるか、などを考え、気付きを得、勉強のモチベーションを高める上での大切な活動であると考えている。

意見5 : 特別活動部の重点は、人間形成に必要と考える。部活動は「人格の陶冶」ひと言に尽きる。北高校のスクール・ポリシーは、歴史ある校訓にもとづいたものであり、進学も目的としておりすばらしいものと考えている。

(3) 本校の教育活動について

意見1 : 難関大学・国公立大学合格に重点を置くことも大切だが、合格することだけに終わらず、その先（社会に出てから何になりたいのか？など）も見据えた大学選びも大切なのではないかなと思う。

意見2 : 素晴らしい進学状況である。そこにグローバルという視点を加えるならば、海外の大学へのチャレンジも、今後はあってもよい。同様に、大学の選択においても、有名大学だからではなく、学部や教授などの専門性などでも選べるような情報や、本当に学問や研究職を行うためには、大学院も視野に入れた大学進学を考える必要があることなど、生徒の皆さんに伝えてほしい。

意見3 : 制服に関する検討について、非常に先進的な取組を生徒主体で行われていると感じた。

意見4 : 制服を廃止するのであれば、一目で北高生であることがわかるような工夫を検討すべきである。

意見5 : 制服についての問題提起から調査・実施・報告・検討まで分かりやすく記されており、その後の経過も報告してほしい。

⇒ 今後の会議でも経過報告をする予定である。

6 会議のまとめ

・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について理解と承認を得られた。

・スクール・ポリシー策定の趣旨を理解したうえで、忌憚のない具体的な意見が得られた。また、本校に寄せる期待や要望も多く聞くことができた。

・第2回では、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果や本校教育活動に対する指導、助言を集約する予定である。